



行政相談委員が中学校に出前教室 ～中学生の要望・意見に対応します！～

と き 3月14日（金） 午前10時～11時

ところ 区立大泉第二中学校 体育館（練馬区東大泉6-21-1）

14日に、区立大泉第二中学校で、練馬区の行政相談委員が、3年生の生徒225名に対して出前教室を行った。

この教室は、未来を担う子どもたちに、日常生活と行政の関わりや身近な行政の問題をとりあげ、行政に関心を持ってもらうことを目的に、平成18年に区立石神井南中学校で、23区で初めて実施した。その後、練馬区の行政相談委員が主催し、総務省東京行政評価事務所が支援して、毎年、区立小中学校で開催している。

今回の出前教室に先立ち、生徒に行政についてのアンケートを実施した。行政相談委員は、寄せられた147件全ての事案について、現地を調査し、解決のための助言や関係行政機関の意見を聴くなどの取り組みを行った。出前教室当日には、その過程をテキストにして、生徒全員に配布した。また、講義では、行政との関わりについて、生徒から寄せられた意見「通学路が狭いので広げてほしい」などを例に紹介した。

行政相談委員は、「行政について興味をもたない人が多い時代。出前教室を通じて、これから社会に巣立つ生徒たちが、「行政」や「行政相談」は自分自身の生活に密接に関わりがあることを意識してほしい」と期待している。

出前教室の最後には、生徒の代表が、「今日は私たちの質問に丁寧に回答していただき、有難うございました。一人一人のちょっとした意識で街を良く出来ると思いました」とお礼のことばを述べた。



出前教室の様子



出前教室の様子

【中学生から寄せられた主な意見・要望と対応】

意見・要望	対応
畑が多い道路に街路灯を設置してほしい。	区に要望し、街路灯が設置された。
地域の図書館の本棚が高く、図書がとりにくい。	区に要望し、踏み台が設置された。

【行政相談委員とは】

行政相談委員は、行政相談委員法に基づいて、社会的信望があり、かつ、行政運営の改善について理解と熱意を有する方を、総務大臣が委嘱した民間ボランティアである。区民の相談相手として、国や独立行政法人の行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事を無報酬で行っている。

練馬区では、10名の行政相談委員が委嘱され活動している。委員は、自宅や練馬区区民相談所等での行政相談に加え、練馬駅構内や練馬まつりなどで、特設窓口を開設し、行政相談を実施している。

【問い合わせ】

区長室広聴広報課相談担当係 電話03-5984-4523